

12月もいっぱい遊んだね！！



クリスマスツリーの飾りつけをしました。いろいろな種類の飾りに興味をもったり、高い位置につけたいと背伸びをしつつ飾ったりしていました。

サツマイモのツルで作ったリース、マツボックリを使ったクリスマスツリーに飾りつけをしました。スパンコールやビーズなどのきれいな飾りに興味をもって製作を楽しんでいました。同じ素材を使っても飾りの配置や量で個性がでていました。



交通安全教室に参加しました。遊戯室では、手遊びやクイズを織り交ぜながら、楽しく交通安全について学び、園庭に作られた道路を歩いて、道路の歩き方、横断するときの安全な確認の仕方などを学びました。

英語で遊ぼうでは、講師の先生に続いて大きな声で英語を言ったり、初めて行う英語を使ったゲームも進んで手を挙げて参加していました。モジモジと恥ずかしそうにしていた前回までと違う姿が見られ、子どもたちの成長を実感しました。



先月郵便局の窓口で購入したハガキを使って年賀状を書きました。「お正月の挨拶って…。」「来年の年神様は何？」「僕は午年。」など書きながら、お正月や干支への関心も高まっていました。お父さん、お母さん当てに書いた年賀状を一人ずつポストに投函しました。元旦に届くと思います。お楽しみに！



戸外のぽかぽかとした日差しを浴びながら、戸外では、鬼ごっこ、中あて、縄跳びなど元気いっぱい遊びました。「今日は何する？」「一緒に中あてやろうよ。」と声を掛け合ってルールを確認し合いながら、遊ぶことができるようになりました。



# 園だより（年長つき組）



小田原市立下中幼稚園  
令和2年12月24日



12月に入り、気温もぐっと下がりましたが、日中は暖かい日差しの中、戸外に出ると元気いっぱいに遊んでいます。子どもたちが楽しみにしていた生活発表会を終え、余韻を楽しみながら遊びを広げたり、季節の行事に親しんだりして過ごした12月でした。そんなつき組の子どもたちの様子をお知らせしたいと思います。

## うみの100かいだてのいえ(その後の遊び)



生活発表会の翌日、「いらっしゃいませ、いらっしゃいませ。」と生活発表会の時の寿司屋さんのセリフを言いながら、寿司屋が開店すると、その声に誘われて、お客さんが集まりました。しばらくすると「今度は私、お寿司屋さんやりたい！」と配役を代えて楽しんでいました。人形のてんちゃんを連れて、客役を楽しむようになると、てんちゃんのアクセサリーを自分好みの物に付け替えて楽しむようになり、「私、髪の毛を切るね。」「じゃあ、お化粧する人をやるね。」「髪の毛にリボンつけていい?」とてんちゃん専用美容院ができました。そんなお店の周りには、お山のポッポ鉄道が運行し、お客さんを乗せてくれました。てんちゃんが少し壊れてしまい修繕が必要になると「けがしちゃったね。」「直してあげないと…。」と美容院に併設して病院ができ、病院ができると「ベットが必要。」「マスクも作ってあげよう。」と『生活発表会』というクラス全員で共有した楽しい経験を基に生活発表会が終わった後も遊びが広がり、クラス全員で楽しみました。その中で、自分の思いの伝え方、一つの物を譲り合って使うとみんなが楽しく遊べること、友達と気持ちを合わせて動かすと汽車が進むことみんなで遊ぶと楽しいことなど遊びながらいろいろなことを学んでいました。

## ハンドベルをやってみよう!!



お楽しみ会に向けて、みんなで相談し、クラスの出し物としてハンドベルの演奏をすることになりました。子どもたちの話し合いの様子に耳を傾けると「ハンドベルやろうよ。」「わたしもやりたい。」「〇〇くんは何がやりたいの?」といろいろな子が自分の意見を言ったり、まだ意見を言っていない子がいることに気づき、意思を確認したりしながら話し合いを進めていました。

第2学期に取り組んだ運動会、生活発表会に向けての取り組みの中でも友達とたくさん話し合ってきました。恥ずかしがり屋さんが多いつき組ですが、友達に自分の思いを伝えること、友達の意見に耳を傾けることがとても上手になりました。ハンドベルの練習は、時間を決めると、声を掛け合い集まって、うまく演奏できないと「ド(のベル)を持っている人がここに並んで。」と音階の順に並んでみたり、「誰か歌って。」と一人の歌声を基にタイミングを合わせたりと工夫しながら取り組んでいました。この取り組む過程の中で得られる経験が子どもたちの育ちの中で改めて大切だなと感じています。お楽しみ会では、緊張で表情が硬くなりながらも年少組の前で堂々と披露することができ、「楽しかった!」とっていました。